

## 第 11 回幸せになるための教育を実現する会議 議事録

日 時 令和 5 年 8 月 24 日（木）午後 1 時～午後 4 時

場 所 雁宿ホール 学習室・大ホール

委 員 神谷、鈴木、大崎、曽根、三浦

そ の 他 企画部長、企画課長

議事録作成者 企画課 内田

---

### 1. 報告

#### （1）半田市の幸せになるための教育について

##### ◆教育委員会の取組を報告

- ・10 月 1 日から 1 週間を強化週間として、児童に名称生徒の投票により「はんだ  
ハッピーウィーク」に決定しました。
- ・強化週間に学校公開を実施します。
- ・8 月 22 日に板山小学校 6 年生による「幸せプロジェクト！幸せな半田にするため  
に」学習の成果報告が市役所で行われ、市長をはじめ関係部課長が参加しました。

##### ◆意見交換（板山小学校児童による成果報告会について）

###### ○企画部長

行政職員が考えつかないような発想の提案であり、市長から刺激になったとの意見がありました。行政に対する提案だけでなく、自分たちが主体的に実施することの発表もあり良かったと思います。

###### ○委員

日々の授業に加えて「幸せ」のキーワードが加わった学習によって、子どもたちの可能性を感じることができることは良いことだと思います。これらの取組が共有され、改善して広がっていけば良いと思います。

###### ○委員

グラフを使った発表があったとのことですが、今の子どもはタブレットなどを活用し、情報を得ることや SNS でつながることができます。活用によって情報量に差が生じると思います。

###### ○委員長

今回の発表にあたり市報を参考にしたとのこと。市報は実施すること、したことだけを掲載するのではなく、背景、目的、成果などを記述すると市民により伝わり良いと思います。また、今回の取組は背景や目的も含めて、掲載してください。

#### ○企画課長

地震対策グッズの補助金啓発の改善を発表したグループは、ポスターを作ってくれました。子どもたち向けの啓発ポスターでした。行政が作るパンフレット等はどうしても文字が多くなるのに対し、キャラクターを作るなど非常に共感がわき、興味を引く内容でした。

#### 【質問事項】

- ・6年生で考えた内容であったと思いますが、発表した4グループは出来が良かった4グループなのか、検討内容が4分野だったのか、18人の発表者がどのように決まったのか発表までの過程が気になります。
- ・この取組を誰が企画・立案したのか気になります。子どもが考えてくれたら、より良い取組であると思います。
- ・今回の発表に対する板山小学校の先生方の感想を教えてください。
- ・今回の板山小学校の取組を別の学校の先生が知る機会はあるのでしょうか。

## （2）半田市教育講演会

横浜創英中学校・高等学校長 工藤勇一様による講演会  
「社会の変化とこれからの学校教育～Agency～」

<終了>